

## (IPAMIA の前身)

スタジオアートヘチマソウオン / Studio Art Hechima So On

代表・山岡佐紀子 (さ希子) イベントごとにメンバーを加えるシステム

**設立目的** \*パフォーマンスアートの実践、企画、体験、ディスカッション、記録、研究、調査、情報交換、交流のために、2000年6月に設立されました。主なオーガナイザーはアーティストでもある**山岡佐紀子**であり、企画ごとに、随時他の協力者を求めるという方法で、進めています。

**経歴** \*2000年6月設立 当初の名前は「DOSHU P.」。高橋美美子、リーウエン、山岡佐紀子で結成。

2000年10月 上野--谷中アートリンク参加企画イベント『パフォーマンスアート!』

東京芸術大学美術館主催 (企画 DOSHU P.) 6人のアーティストによる表現とトーク

リーウエン、丸山常生、高橋美美子、中島美々、磯崎道佳、山岡佐紀子

2001年4月、7月、10月 以下企画メンバーは山岡のみ

野外パフォーマンスイベント『minimal/distance of performance art』 赤羽岩渕水門

のべ9人のアーティストによるコラボレーション

2003年2月 パフォーマンスアートの写真展 パラグローブ (杉並区の画廊)

写真家5人にパフォーマーは11人 企画協力/芝田文乃、パラグローブ

2003年7月 web site 制作。名前を「パフォーマンスアートヘチマソウオン」にする。

メンバーは山岡佐紀子。企画に応じて協力者を求める形をとる。パフォーマンスアートに関する英文資料の翻訳、そしてwebに紹介。

『performance live art since 1960』『The Connected Body?』

『Black Market International "EUROPE"』『PARADISE』『Free Martin Zet!』

『Art contextual / Jan Swidzinski』(こちらはフランス語から、専門家に依頼する)

2003年10月 招待アーティストのパフォーマンスイベント「ボリス・ニーズロニー (E.P.I.Zentrum 代表)」

FGカフェ/東京 企画協力/FGカフェ、アートプラス JP

2003年8月「パフォーマンスアーティストのインタビュー」始める。(webに書きおこしアップ)

企画協力: FGカフェ/東京、アウトラウンジ/東京

塩原康則氏 2003年8月、池田一氏 2004年1月

及川広信氏 2004年3月、齊藤陽子氏 2004年11月 (ドイツ、デュッセルドルフにて)

2004年9月~12月

国際交流基金のフェローシッププログラムで、ドイツとスイスのパフォーマンスアートのアーカイブ E.P.I.Zentrum に滞在。日本人のパフォーマンスアーティストについての資料を集める。

2005年3月 招待アーティストのパフォーマンスイベント「ジェyson・リム (シンガポール)」

アウトラウンジ/東京

10月 「ドイツのパフォーマンスアーティストの紹介 05 出会うための芸術 05」

日本におけるドイツ年企画『グローバルプレーヤー展』(BankART/横浜)に参加

他、ドイツ文化センター(東京)、多摩美術大学(東京)、信濃美術館(長野)

大阪成蹊大学(京都)、などにて、講義およびパフォーマンス公演を企画。

ゲスト／ボリス・ニーズロニー、ユルゲン・フリッツ (野村国際文化財団助成事業)

「横浜港湾借景行為表現計画」(横浜トリエンナーレ応援企画) (横浜市芸術文化財団共催)

上記のふたりのドイツからのゲストと日本の9人のアーティストとのストリートコラボレーション

参加者/谷川まり、折元立身、幅佳織、白井廣美、サエグサユキオ、丹羽良徳、田上真知子

11月「寿町の住民7人と3人のアーティスト、横浜トリエンナーレを見に行く」(記録 DVD 作成)

12月 スタジオアートヘチマソウオンに改名

「横浜港湾借景行為表現計画」記録 DVD 作成 丹羽良徳 (丹羽アートプロジェクト) 協力

2006年3月 「タイムレスベースドアクション」展 (プラットフォームスタジオ/東京)

8人のアクションのアーティストによる平面、立体作品展およびパフォーマンス

サンキューアート参加作品「世界のへそ」寿町にてワークショップ写真展 (横浜市)

4月 ザイムオープニングフェスティバル参加 「世界のへそ展示室」(横浜市)

写真展およびトークイベント

8月 YOKOHAMA EIZONE 出品(DVD 作品) BankART1929(NHK,横浜市芸術文化財団主催)

2007年7~8月 出会うための芸術2 E.P.I.Zentrum(ドイツ)とのコラボレーション企画

7人の日本のアーティストがドイツの5都市を回る。各都市のコーディネーターとの連携によって、  
現地のアーティストとコラボレーションする。

ケルン、エッセン、デュッセルドルフ、ヒルデスハイム、ハノーファー

(野村国際文化財団、NRW 芸術基金他ドイツのファンデーションによる助成)

日本側アーティスト/山岡佐紀子、足立智美、白井廣美、田上真知子、荒井真一

2008年10月7日~19日 ワンダララ計画09 プレイイベント「響き合う始まり」

於：ザイムカフェアネックス (横浜市)

展示/足立智美、山岡佐紀子、のぎすみこ、丹羽良徳、ジュリアン・ブレイヌ他

トーク「ハイブリッド日本文化論」司会/アライ=ヒロユキ、

野口玲一(文化庁文化調査官) × 佐川亜紀(詩人)

ワークショップ「やってみるポエトリーアクション」レクチャー/足立智美

パフォーマンス/山岡佐紀子、足立智美、谷川まり、富士栄秀也他

2009~2010年 Cannons and Muses 多摩美術大学映像演劇学科の学生たち10名と

テルアビブの若いアーティストたちとのインターネットを使った交流イベントコーディネート。

2010年9月~2011年9月 シャトー・パフォーマンスアート・マルゴー vol.1~6

出演者：村井元、門倉緑、直方平ひろと、山岡佐紀子(以上設立メンバー)他

於：小金井アートスポット シャトー2F

2011年10月~ バクスイレン(トーク、インタビュー、ディスカッション) 2~3ヶ月に一度

企画メンバー：山岡佐紀子、門倉緑

於：川越市産業物産館 小江戸蔵里 つどい蔵

2011~2013年 バクスイレン2 (ディスカッションのイベント) 計11回

企画メンバー：山岡さ希子(改名)、佐野佳子 於：マルプギャラリー(池袋)

2016年 Independent Performance Artists' Moving Images Archive (IPAMIA) 設立